

月詠さんが
いかに本話を
さらけ出す話



前書き

どうも、ホリエです。

最近ではエロ漫画もほとんど書いておらず、
わびしい貯えを日々無駄に減らすだけのぐう
たらな毎日を送っていました。

そこで貯えも随分と心細い額まですり減って
しまいましたので、なんとか当座を凌ごうとゆう
思惑で久しぶりに同人描いてみました。

まあ以前から「銀魂の月詠はやたらえろい」と
方々でのたまわっていたので、時期が良いと言え
ば良いのでしょう。

むしろ月詠に対する愛だけが原動力と断言し
ても過言ではない気がしてきました。

そこで、どうせ同人描くなら後学の為にデジ
タル作画してみっかと一念発起してみたものの、
ペン入れ五分で挫折。仕上げだけデジタルとゆう妥
協なくファイト。

いろんなサイト見てみると、「デジタル便利す
ぎ!」とか「デジタル超早い!」とか「もうアナ
ログに戻れない!」なんつ一文句が並んでいたの
で、疑いなく自分のバラ色の未来を描いていたら、
「間違いなくアナログの方が3倍早い」とゆう結
論に5ページ目で達したものの、愛と気合と根性
でなんとか最後までやりきる事が出来ました。

とりあえず「パワーストーンのお陰で毎日が
バラ色」やアグオスの霊芝に騙される人間の気持ち
が少しわかったので良しとしておく他にない。

今までフォトショの5.5でやっていたのをイラス
タに変えたのですが、これが超便利。

データ軽いわ、ツール便利だわで、10年の技術
差を思い知りました。すごい。

ただフルカラーで作業する時の色選択関連の操
作で欠陥があるっぽいのが玉に傷ですが。

特にCMYKスケールでの不具合は商業でやる際
には致命的な欠陥になり得るので、どうにか改善し
て欲しいです。

製本したモノをしてみるまではなんとも言えま
せんが、作業中にもいろいろ発見があり、技術的
にもかなり上がっている実感があるので、金と時
間に余裕があれば次も作ってみたいと思います。

しかし、デジタルでアナログより早く出来る人
って一体どうやってるかが謎過ぎる。
パソコンにサイコミュ搭載してないと無理じゃな
いか?とゆうレベル。

もしくはウメショーリューが出せる反射神経。

最後に宣伝。


今回の同人で興味を持たれた方、ティーアイネ
ットより単行本が2冊出てますんで買うと良いこ
とあるかもしれないです。主に私が。

神よ! 我に不労所得を与えたまえ!



月
球
探
査
機
が
ま
さ
し
ら
せ
た
話





吉原警備隊
百華頭領
月詠

この吉原が
変わっても
相変わらず
いい女だ

オレあずつと
あんたの事を
見ていたんだぜ

待ってるよ
もうすぐ
あんたあ
オレのもんだ



月詠さんで
ございますね



確か
ぬしは…

晴太に預かった
金はしっかり返した
のでありますか

こりやあ耳が痛い
ご存知でしたか…

へへ…



消えなんし

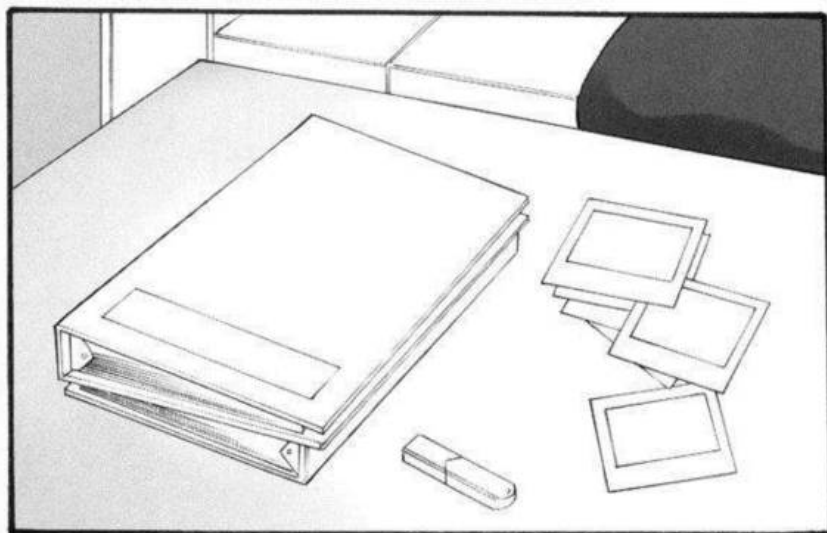
わっちはぬしの
ような輩は
好きじゃありません

そう
仰らずに

ちよっとお見せ
したいモンが
ありますね

苦労して
手に入れた
写真でしてね

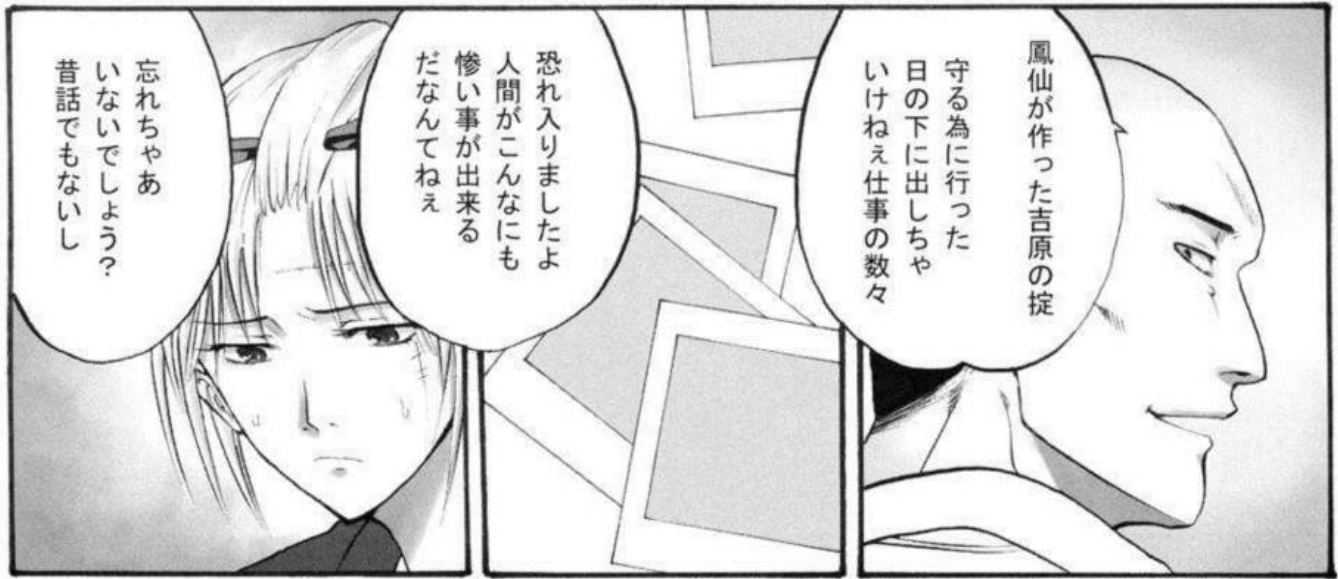
!





そこにはあんたが
隠したい事が
書かれているだろ

どうですか？



鳳仙が作った吉原の掟
守る為に行った
日の下に出しちゃ
いけねえ仕事の数々

恐れ入りましたよ
人間がこんなにも
惨い事が出来る
だなんてねえ

忘れちゃあ
いないでしょう？
昔話でもないし



犯した罪を
背負う覚悟は
出来てんす

違うよ月詠さん
そうじゃない

あんたコレを
見られて困る
人がいるよね
例えば…

？



万事屋の
ダンナとか



やめて下せえ
昔の吉原じゃあ
あるまいし

いくらあんたでも
人一人ぶっ殺したら
タダじゃ済まないよ

それにあんたあ
他人の為に殺せても
自分の為には殺せない
人間だあ

……

何が目当てで
ありんすか……

なあに
ちっと我慢して
くれれば済む

書類は全て
あんたに渡す

その変わり……





っ…
奇特な男で
ありんすね

吉原なら他に
いくらでも女が
買えように

わざわざわっちに
目をつけるなんざ

ぎゃ

っ…

あんたあ
気付いて
ないだろうが

ぎゃ

高慢な態度に
むしやぶりつき
たくなるような
肢体

んっ…

男なら誰でも
よがらせてみてえと
思うもんだぜ

んっ…

くっ…



遠慮なく声をあげて
いいんですぜ

防音はそれなりに
効いているんでね

はあ

はあ

誰がっ……!

この男……
随分ねちっこく
責めてくれる……

しかし何故だ?
この甘い……

はあ

痺れるような
……香?

はあ

はあ



きゃうっ!!

なんだ てっきり
オレだけが楽しんで
いるのかと思ったら

……っ!

どうやら
まんざらでも
ないみたいですね

さ
次は下を
巻き上げて
もらいましょうか

これで……
満足でありんすか

眼福眼福
まさかこんな
間近で拝めるたあ

おや？下着が
湿ってませんか？

何を……

そんな事は
ありんせん

^^……

それなら
確かめさせて
もらわねえと

……んっ！



んっ

んっ

気色の悪い
動きをしなんせ
……っ
んっ

おつかしいな
やっぱり
湿ってませんかねえ

ふんっ…
自分の汗とでも
勘違いしてるんで
ありんしょ…

はあ

なら
もっと確実に
調べましょうか

はあ

はあ

んっ…
くう…

んっ…!

それじゃあ
指突っ込むんで
片足上げて股あ
おっぴろげて下さい

ここまで
させて……
約束はちゃんと
守って……

あっ！

なっ……！

ううっ……

あっ……

やっぱり
濡れてる気が
するなあー

んっ

いやだなあ
そんなに私が信用
出来ませんか？

びくっ
びくっ
びくっ

あっ……！
勝手に……指を
挿れるなあ……っ！

っ……！
バカも……っ……
大概にしなんせ……！

びくっ
びくっ
びくっ

んっ
んっ
んっ



おかしいなあ
もう肘まで
滴ってきているん
ですけどねえー

んっ

アッ

んっ

アッ

アッ

んっ

うんっ

そんなの……っ

んっ……!

んっ!

気のせいで
ありんしょ……!



んっ

くそう……
こんなっ……
こんな輩に!

んっ

んっ
なんで……
こんな……



音
聞こえて
ますよね?

あっ

んっ

流石にもう
言い訳が
苦しいでしょ

あっ



やあつ……! ひく……!
だめだつ……
見るなあ……!

あつ! ああつ!

フュー
チュ



なあんだ
やっぱり気持ちよく
なってるじゃないですか

……っ!

ぬるぬる

ニチャ

はっ

はっ



へへ……

それじゃあ
本番と
いきますか

なっ！

やめろっ
そこまでは

なら万事屋の
旦那に知れても
いいんですね？



それは……

困る……

んんっ……？

おいっ！

ふち

何か……
当たってるぞ！



待てっ……！

「んんっ……！」

ちよつと待てと
言うておる
だらうにっ！

あっ

に
ゆる
るるる

待っ……
あ！



おお、あつたけ
こりやあ
いいまんこですぜえ
月詠さん

んあっ

あっ

あうっ……
……んっ！

黙れえ……っ
この……んっ……
下衆めっ……！



あんっ

びん

びん

あっ

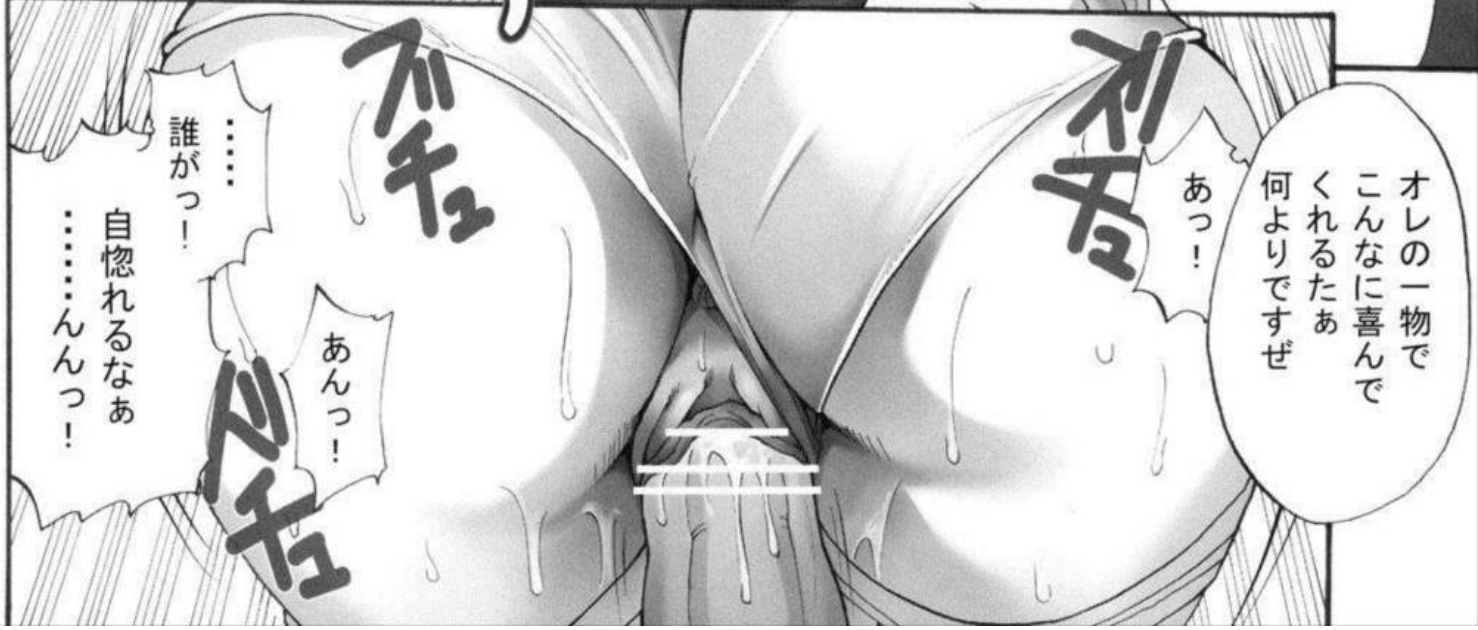
あっ

あっ！

びん

びん

いくい具合だあ
たまらんですぜえ
月詠さん



……
誰がっ！

自惚れるなあ
……んっ！

あんっ！

びん

びん

あっ！

オレの一物で
こんなに喜んで
くれるたあ
何よりですぜ

啜え込んで
離してくれねえ
こいつは大した
まんこですぜ

あっ

おっ
おっ
おっ

おぬしっ…
どこまでも…

おっ
おっ
おっ

おっ
おっ
おっ

あっ

あんっ

はあっ

はあっ

ぬ
ぬ
ぬ

ぬ
ぬ
ぬ

ぬ
ぬ
ぬ

ぬ
ぬ
ぬ

はあっ

はあっ

駄目だ…っ
このままでは…

はあっ



はあっ

はあ

はあ



ああ…

まだっ……

まだ終わらないんで
ありんすか？

あんっ



あんっ

あっ

あんまりつれねえ事
言わないで下さいよ
今日は五発は出す
つもりで準備して
きたんですから

あっ



はあ

ふざけるなっ

そこまで
付き合っ

はあ

つれねえ事
言いわないで
下さいよ

ぽんっ
ぽんっ
ぽんっ



ヌ
フ
ッ

やあ...

あんっ

ズ
キ

折角、月詠さんの
善いところも
わかってきた
頃合ですからね

あ
あっ
...



ほら
月詠さん

やめ...っ

ズ
キ

体が
馴染んできた
頃合でしょ

あんっ!!

あんっ

はああ
ああっ

あんっ

あっ

へへこりやあ
いい按配だあ
もう出しますぜ

あっ



あ……

あ……

あ……

あ……

あ……

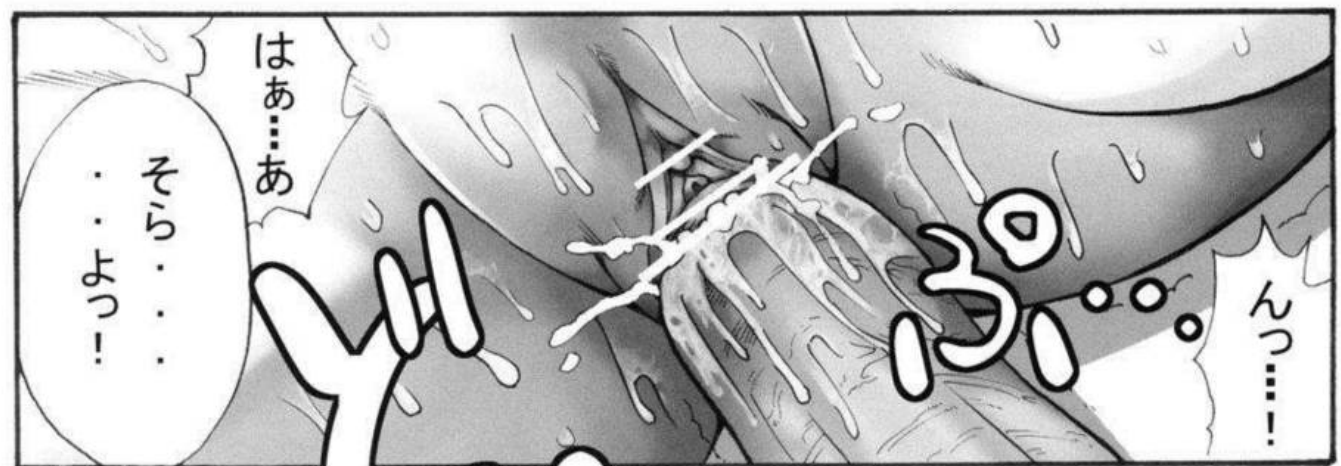
あ……

まだまだ
お楽しみは
これからですぜ

あ……

たまらないぜ
月詠さん……





このっ…
おぬし…っ

はあーっ

はあーっ

また…
出しおった
…なあ…

はあーっ

はあーっ

はあーっ



そろそろ
オレの女になりたく
なった頃じゃあ
ありませんかい？

ふざけるなっ！
誰がおぬし
なんぞにっ！

はっ

はっ



んぷっ！

じゅるっ

んっ！

んん！

ズポッ
んっ！
んんっ！
ズポッ
んっ！



ちんぽに
ヨガリながら
じゃあ説得力が
ありませんぜ

はあ

はあ

はあ

んっ……うっ
やめ……ろおっ



はあ

これでは
この男の思い
通りではないか
…だが何故…

はあ

はあ

どうしようもなく
快楽を感じて
しまうのだっ…!

ぐちゃぐちゃ

ぐちゃぐちゃ

こんなの…

あんっ

こんな
下郎に…

ああっ

ぬちゃ

はあ

ぬちゃ

ああっ あっ

へへ…
すっかり女の顔に
なってますぜ
月詠さん



あっ

あっ

あっ

あっ

あっ

あんっ

あっ



あっ
もうだめっ…
満足してくれえ…

あっ

やあっ…

あはあっ

あはあっ

あはあっ

あはあっ



あはあっ

あはあっ

あはあっ

あはあっ

あはあっ

あはあっ

あはあっ

あはあっ

それは嘘でしょう
あんたの身体は
もっと欲しがって
ますぜ

たまらんぜ
月詠さん

あつ
あつ

あつ
あつ

あつ
あつ

あつ

もう一発っ
中に出して
やるっ……!!

あつ
あつ

あつ

あつ

ああ……
やめろ……

あつ
あつ

もう……っ
出すなあ……

あつ
あつ

ああん

あつ
あつ

あつ
あつ

やあつ

あつ
あつ



奥付

月詠さんがいやらしい事をされてしまう話 (NTR陵辱編)

発効日 2010年10月24日
サークル かつおぶし
著者 ホリエ
印刷 しまや出版 様

メールアドレス
horieug@jn3.so-net.ne.jp

URL <http://2.suk2.tok2.com/user/horix/>

※この本の無断転載、複製、転写
及び18歳未満の方の購入、閲覧を禁じます。

アグネ〇が怒るので。

